

政策評価書（要旨） （事後の事業評価）

事業名	新小銃てき弾	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理（研究開発）	実施時期	平成17年10月～18年3月

事業の内容 陸上自衛隊の普通科部隊等が近接戦闘における地域制圧火力として使用する新小銃てき弾を開発した。	13	14	15	16	17	完了年度	
	← 試 作 →						17年度
						試験 ←-----→	研究経費
							約9億円

評価の内容

事業の目的 64式小銃に替わり整備を進める89式小銃で射撃可能で、かつ64式小銃でも射撃可能な小銃てき弾の開発を目的とした。	達成状況 達成効果 以下の技術項目の達成により、新小銃てき弾を開発した。 ア 分離飛翔技術 イ 小型・軽量化技術、低コスト化を図ったシステムの最適化技術
--	---

達成時期 平成14年度から試作に着手し、平成17年度に試験を終了した。	教訓等事項 開発の成果のうち、弾丸トラップと分離飛翔方式を組み合わせたてき弾発射機構については、国内外初の開発であるとともに、これにより、発射時の反動が低く抑えられるとともに、射手方向への飛散物の抑制が図られるなど、射手にとって高い安全性を確保できた。
---	--

今後の対応

今後、普通科部隊等への整備を進める予定である。	その他の参考情報
-------------------------	-----------------

